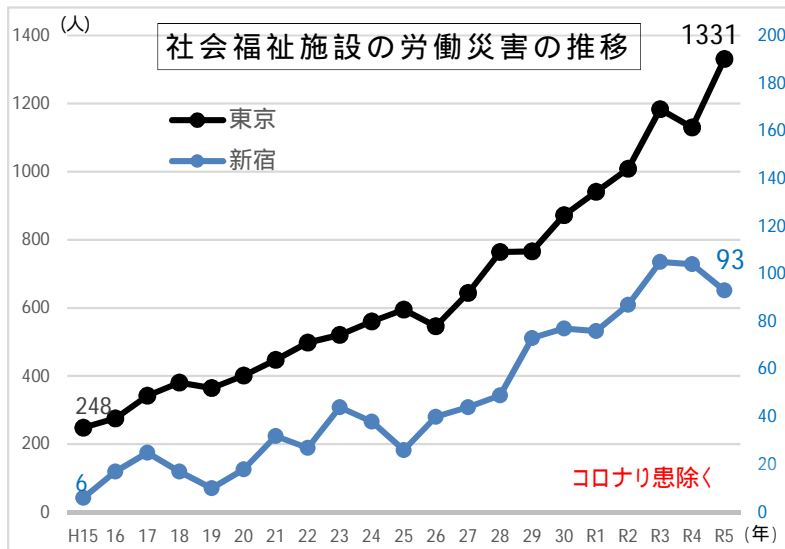


# 腰痛対策 (抱え上げない介護の実現) ・ 転倒対策の強化

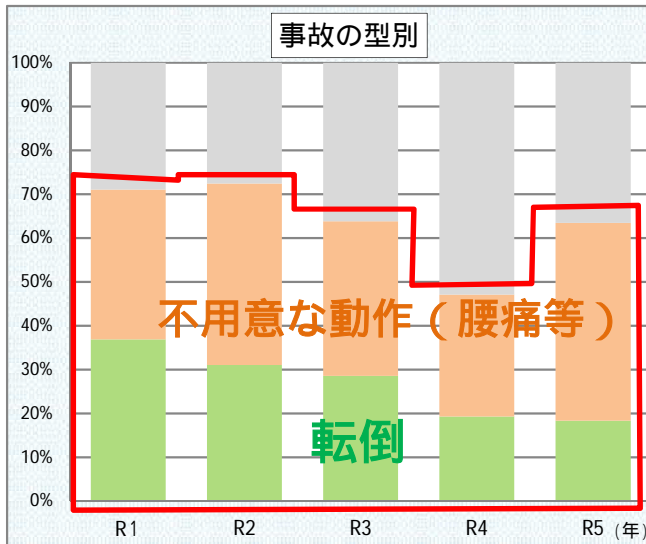
～ 行動災害防止を中心とした対策の推進～

## 管内 (新宿、中野、杉並区) 社会福祉施設の労働災害の特徴

都内の発生件数は過去ワーストの件数



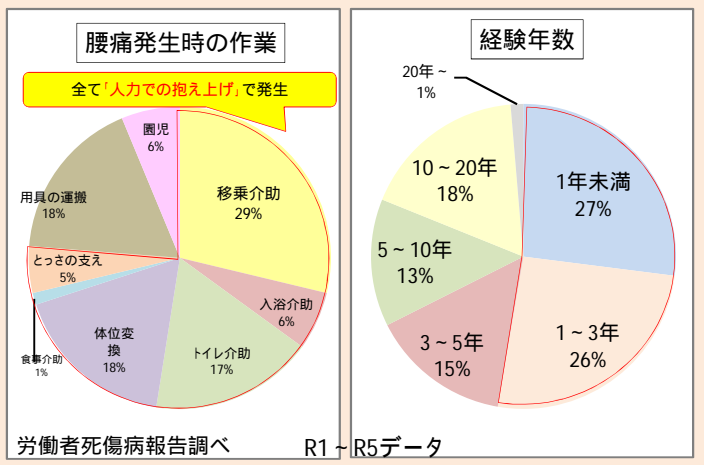
管内では転倒、不用意な動作が約5~7割を占める



### 腰痛災害の特徴

介助作業時に発生

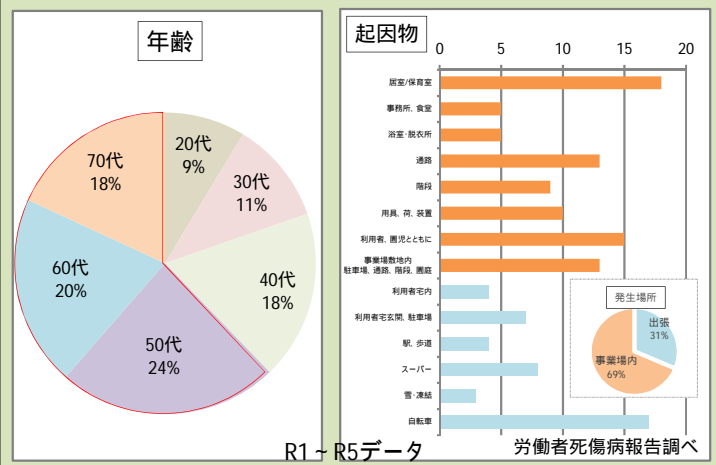
半数が経験3年未満



### 転倒災害の特徴


高齢労働者に多い

事業場外、出張中にも発生



理事長、施設長、園長等の強い意志と労災防止活動が重要

### トップの安全衛生方針 (表明例)

**例**  策定日 令和 年 月 日  
 安全衛生方針  
 当社は、「『職員の安全』『利用者の安全』の礎である」との理念に基づき、安全衛生の基本方針を以下のとおり定め、経営者、職員一丸となって労働災害防止活動の推進に努めます。

**安全衛生の基本方針**

安全衛生活動の推進のための組織体制の整備、責任の所在の明確化を図る  
 労使のコミュニケーションにより職場の安全対策を講じる  
 すべての職員、パート、アルバイトに安全衛生教育・訓練を実施する  
 上記の実行に当たっては適切な経営資源を投入し、効果的な改善を継続的に実施する



会社名 (福) 会  
 代表者 理事長 東京太郎

第14次東京労働局労働災害防止計画推進中

### 安全の担当者 (安全推進者) の配置

安全活動の経験、知識のある者を1名選任し、氏名を掲示  
 < 主な活動は以下 >

< 職場内の作業方法、危険箇所の改善 >  
 職場内の4S活動 (整理・整頓・清掃・清潔)  
 福祉機器等の安全な取扱い  
 床面の凸凹、水等の解消 (危険箇所の解消)

< 働く人の安全意識を向上 >  
 朝礼等で労災防止の意義、取り組みの周知  
 安全な作業 (腰痛、水漏れ・段差の確認等) の教育  
 危険の周知 (見える化)、私の安全宣言

転倒危険!

災害危険!



ノーリフトケア(抱え上げない介護)できていますか？(福祉機器・用具の積極的活用)



その為には

環境整備

一人一人の意識改革

- ・組織全体の取り組み(トップの方針、福祉機器の導入)
  - ・腰痛予防の必要性と抱え上げない技術の教育
- マネジメント(組織体制の整備)が重要

腰痛予防の教育(特に雇入れ時)  
(腰痛の発生要因と対策のポイントを教育)



- <教育内容(例)>
- ・福祉機器の適正な使用
  - ・移乗作業時の作業姿勢
  - ・4Sの重要性
  - ・効果のある体操の実施

雇入れ時の教育マニュアルの活用  
(厚労省HPよりダウンロード可)

介護施設 雇入れ 教育マニュアル 検索



その他腰痛予防対策

作業姿勢(中腰、捻り、前屈等不自然な姿勢を取らない)  
4S(作業空間の確保)

作業マニュアルの作成

体操の実施



作業者の状態	設備
体格	身長170cm、体重60kg
歩行	(不可) 不安定(要介助) 可(見守り) 自立
立ち居保持	(不可) 不安定(要介助) 可(見守り) 自立
座位保持	(不可) 不安定(要介助) 可(見守り) 自立
移乗	(不可) 部分介助 見守り
移動	(不可) 部分介助 見守り
階段	ロープ・グリップ使用... 要介助 見守り 自立 ドレール使用... 要介助 見守り 自立
入浴	介助(要介助) リフト用 部分介助 自立(見守り) 自立
移動	椅子を使用 歩行を介助 可(見守り) 自立
履脱	介助(要介助) 見守り 自立
器具使用	指輪(指輪) 指輪 (両腕にのみ) 可能
介護の能力	距離あり 時々距離 (能力別)
その他	履脱あるが、はきり大きい靴で履き付ければ息苦味減可能。 介護用具使用が困難になる。 変化があれば作業標準の見直しを行う。 福祉用具及び作業環境
	ベッドに寝返りリフト リフトアップ/下り
	介助の留意点
	大股であるため、リフト着用を困難 前部姿勢と成らないよう、ベッドの高さを上げろ

事業場内・出張時の転倒災害防止対策のポイント

“すべる要因”と“つまづく要因”をなくすこと！  
(水気の除去・段差解消と4S(整理・整頓・清潔・清掃)の徹底)

<職員しか立ち入らない通路、事務所、駐車場、厨房、倉庫等も点検>



訪問先の危険箇所の確認

(玄関口の段差・縁石、雨や水濡れ等)

自転車の安全運転も教育



転倒、腰痛等の行動災害

(労働者の作業行動を起因とする労働災害)の予防対策の推進

特に三次産業で労働災害が増加しており、「転倒」や「腰痛」等の行動に起因する災害(行動災害)が多くを占める。

企業・労働者の行動変容を促し、災害増加に歯止めをかける

「SAFEコンソーシアム」の設立

全てのステークホルダーが一丸となり、安全で健康に働くことのできる職場環境の実現を目指す「従業員の幸せのためのSAFEコンソーシアム」を設立しました。

SAFEコンソーシアム ポータルサイトの活用

SAFEとは?

コンソーシアム

シンポジウム

アワード

現場視察

転倒予防川柳

動画

各種動画を多数配信

シンポジウムや現場視察 取組のアワード(表彰) 転倒予防川柳

SAFEコンソーシアムポータルサイト

高齢労働者対策

高齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン

高齢労働者が安心して安全に働ける職場環境づくりや労働災害の予防的観点からの高齢労働者の健康づくりを推進

働く高齢者が増加!

60歳以上の労働災害1/4以上!  
災害発生率が高齢層で高い!

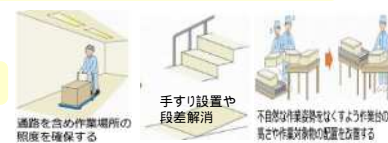
高齢者の就業状況や業務内容に応じて 実現可能な対策を

ポイント

『トップの方針表明』と推進するための『体制整備』

ポイント

『職場環境の改善』



ポイント

『体力や健康状況』の把握と対応

体力チェックの実施

ポイント

『安全衛生教育』



体力チェックの方法、ガイドラインの詳細について

